



●駅舎は南側にある。ユニークな造形のコンクリート造。ホームは2面2線で、地下道で繋がっている。



●駅の南側を通る国道294号は地下道でぐり抜けることができる。 ●駅前のロータリーにはアート作品が複数展示されている。



取手市最西端の大型住宅団地・戸頭ユニークなアートスポットに変ぼう
関東鉄道常総線・戸頭駅は昭和50年3月、戸頭団地の整備に合わせて設置された。常総線の中でも利用者が多く、知られ、かつては取手駅に次いで2番目に利用者が多い駅だった。
駅や団地の名称にもなっている「戸頭」は、利根川の「七里ヶ渡し」の船着き場が「津頭」と呼ばれ、それが転訛して「戸頭」になったと言われている。
平成11年に東京藝術大学の先端芸術表現科が取手市に設置されて以来、市内には多くのアート作品が展示されるようになった。戸頭地区も市内有数のアートスポットになっており、戸頭団地の外壁アートが話題を集めているほか、駅前にも「小曲H&P money」や「地脈」、「王とH&H」などの作品が飾られている。戸頭は散策しながらアートを楽しめる特別な場所だ。

駅からのふるさと紀行 関東鉄道常総線

戸頭駅

みなみ もり や いな と い
南守谷 稲戸井

●次回は5月26日 ※イラストはイメージです。
「谷河原駅」を掲載予定です。



いきいき茨城ゆめ国体2019 を応援しております。

働く人と、世界を走る。

ISUZU

茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(代) <https://www.ibaraki-isuzu.co.jp>

ふるさと紀行 周辺マップ

●戸頭団地の壁面アート
東京藝術大学出身の作家やUR都市機構がタッグを組んだ「IN MY GARDEN」プロジェクト。居住者も参加しており、団地の思い出やエピソードが作品化されている。

●ショッピングセンター・遊歩道
駅から国道294号をくぐる地下道を抜けると、カラー道路と呼ばれる歩行者・自転車専用道路がある。西側に立ち並ぶ集合住宅の壁面にはアート作品が描かれている。

●家・色いろトンネル
平成12年から始まった取手市の壁面によるまちづくり。戸頭陸橋橋脚に描かれている「家・色いろトンネル」は、旧戸頭東小学校の児童によって描かれた。

●とがしら公園
野球場やテニスコート、多目的広場、遊具広場、バーベキュー広場などがある緑にあふれた都市公園。アスレチックや健康器具もあり、大人から子どもまで楽しめる。

●宮ノ前ふれあい公園
地域の人々の憩いの場となっている公園。起伏に富んだ地形を生かした公園で、木々のざわめき聞きながらの散歩は格別。公園内にある2つのアート作品は必見。

●海軍飛行船殉難慰霊碑
大正13年3月、海軍霞ヶ浦航空隊の飛行船「SS3号」が横須賀からの帰航中、突然爆発して墜落。その慰霊碑がもくせい公園の南側に建立されている。

●「DAWN(夜明け)」
●「リング」

●散策コース

れていたたり…。立体的に見えるものもあり、眺めていると時間が経つのを忘れてしまう。さらに進むと戸頭陸橋があり、橋脚には地域の子どもが描いた壁面アートがある。

ウォールアートを満喫したら、次は公園巡り。戸頭団地は多くの公園があることで知られている。住宅街に隣接するとがしら公園は緑にあふれ、疲れを癒やすのに最適な場所。宮ノ前ふれあい公園には「リング」と第11回市長賞を受賞した彫刻の「DAWN(夜明け)」がある。もくせい公園には海軍飛行船SS3号殉難慰霊碑があり、墜落の様子や地域の人々の消火作業や救助作業の様子などが刻まれている。